

【衆院総務委】

2017. 12. 6 日本経済新聞

「報道の自由」萎縮生む



奥野 総一郎氏 (希望・比例南関東)

奥野議員は「報道の自由」について、放送法第4条に関する政府統一見解の現状を確認した。

政府見解に変更はない

奥野議員は、放送が政治的に公平であると判断する場合、これまで一つの番組ではなく放送局全体を見て判断するとしていたことから、昨年の予算委で「一つの番組を見て全体を判断するのは当然のこと」とした高市早苗総務相時代の政府見解について質問。「明らかに解釈が変わっており、報道の自由の萎縮を生む。高市大臣の解釈を踏襲、引き継ぐのか」と、あらためて見解をたじた。野田聖子総務相は「政府統一見解は問題なく、変更はない」とし「番組に対する行政指導は慎重に検討を行った上で実施するもので、従来と変わらない」と答弁した。